



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.583 2020.11.25

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

暮らしの願い、実現を

日本共産党北区議員団 花川区長に新年度予算要望書を提出



花川区長に新年度予算編成に関する要望書を手渡す日本共産党北区議員団と遠藤久党北地区委員長

区議会第4回定例会

のの山区議が 個人質問

※詳細は
裏面に



19日、日本共産党北区議員団は、2021年度の北区予算編成に関する要望書を花川区長に提出しました。

今回の要望書は、コロナ禍における緊急要望に絞り込み、「ケアに手厚い区政を」、「子育て・教育」、「暮らしと就労支援・産業振興」、「文化・芸術・スポーツ振興」、「防災」、「まちづくり」、「温暖化防止、環境・リサイクル対策」、「平和・人権擁護、ジェンダー平等社会の実現」、「行財

政改革」の9つの柱で162項目の実現を求めました。

花川区長からは、「来年度はコロナ禍の下で厳しい予算編成となるが、区民、区内団体から寄せられた切実な声をうけての要望と受け止め、予算編成の中で十分に努力、検討していきたい」との回答がありました。

要請には、日本共産党の遠藤久北地区委員長、そねはじめ都議も同席しました。

(のの山けん)

北区議会第4回定例会での 本会議個人質問(詳報)

25日、区議会第4回定例会本会議で個人質問。今回は、コロナ禍における行財政運営と北清掃工場建替事業について区長、教育長の見解を問いました。(のの山けん)

中小業者に営業継続の“希望”を

この間、赤羽の街を歩いて聞き取った生の声を紹介しながら、新型コロナで深刻な影響を受けている中小業者に区として支援を行い、「来年も頑張れる」という“希望”を示すよう求めました。

● 各種支援制度は期限の延長を

「国や都などの支援をすべて活用しても、月々の赤字は200万円。忘年会の予約も入らず、消費税も納められない」という店主の声を受け、持続化給付金、家賃支援給付金の延長、消費税5%減税と納税免除を国に求めるべきと訴えました。

区は「消費税減税を求めるつもりはない」としながら「支援策は拡充を求めている」と答弁。

● 区独自の支援策、制度の周知を

制度のはざままで支援が受けられない事業者に区として独自の支援を行うことや、制度そのものを

丁寧に周知することを要請。区は、「求められる支援について引き続き検討する」、「制度案内のチラシを作成し配布する」と答えました。

● 設備投資支援事業は来年度も

事業者には歓迎されている設備投資支援事業は、来年度も規模を拡大し継続するよう求めました。



北清掃工場 建替事業

解体工事の 被害を最小限に

2年後に解体工事が始まる北清掃工場。「20 デシベルの騒音低減効果」がある全覆い仮設テントの設置を、施工者である清掃一組に対し、最後まで働きかけていくよう区長に求めました。

また、周辺への被害を最小限に抑えるための具体的な工法を住民に示すべきだと迫りました。



2022年度から建替事業が始まる志茂一丁目の北清掃工場

新型コロナ対策の中核担う 北区保健所の 体制強化を

東京で一日の新規陽性者数が500人を超えるなど感染が急増する中、新型コロナ対策の中核を担う保健所では、感染経路を追跡するトレーサーなどの増員が切実に求められています。

新年度は正規職員の保健師を増員配置することで人的拡充を図るよう求めました。